第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 環境配慮型コンクリート（材料）

環境配慮型コンクリート（材料）7

座長:岩下健太郎(土木),椛山健二(建築)
2024年6月28日(金) 13:15 〜 15:00 第2会場 (小展示室B)

[1257]コンクリートおよび構成材料に関わる CO_2量評価方法の海外規格調査

森泰一郎[1], 安田僚介[1] (1.デンカ)

キーワード：CO2量、国際標準化、ISO、EN、ASTM、湿式分析、機器分析、適格性試験、精度

コンクリートおよび構成材料へ人為的に固定された二酸化炭素（ CO_2）の評価方法について将来的な標準化戦略の構築に向けた参考材料とするべく， CO_2量評価に関わる既存の国際規格（ ISO），欧州規格（ EN），および米国（ ASTM）を調査した。その結果，主として石灰またはセメントを対象とした CO_2量の評価方法が規格化されており，適格性試験の規定や精度データなど JIS規格にない概念を確認した。また， ATSM WK80282にて，セメント・コンクリート中の CO_2固定量評価に関わる新たな規格化作業が進行中であることがわかった。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会